

週刊新潮

広告特集

もう、ひとつごとではない

「認知症」にそなえる

2020年 9月17日発売号

【対象】

金融/保険 高齢者施設 介護サービス 医薬品 特定保健用食品 機能性表示食品 等

(株)新潮社 広告部

そこから見えてきた読者の心配ごと

親の
認知症が
現実に
.....



自分が
認知症に
なったら
.....



本企画では
ご協賛企業さまの商品・サービスを
そんな読者の心配ごとを解決するために
欠かせないアイテムとしてご紹介いたします。



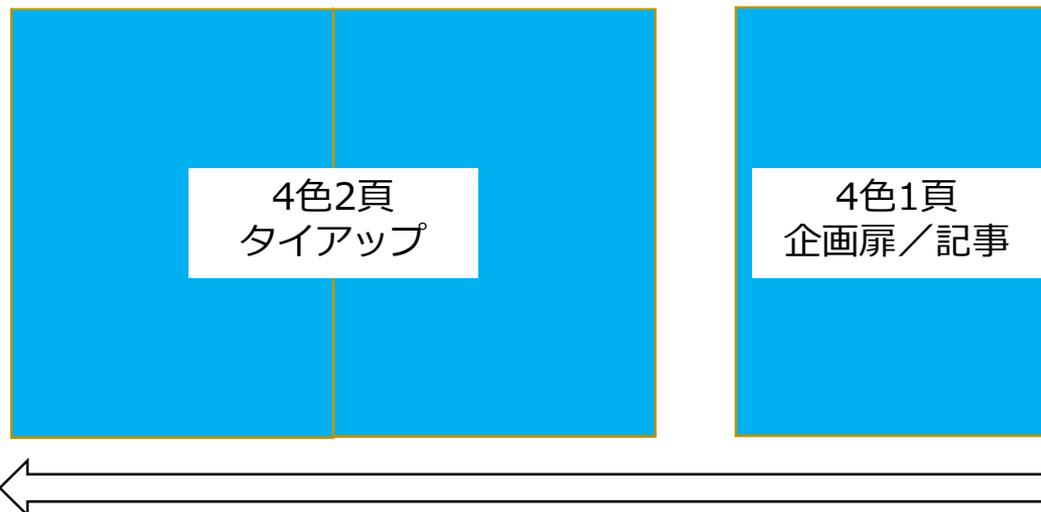
週刊新潮 9/17売
認知症特集ご協賛 3つのメリット

知名度の高い週刊誌が「最新的话题」として掲載
→認知症を親戚、家族で話題に

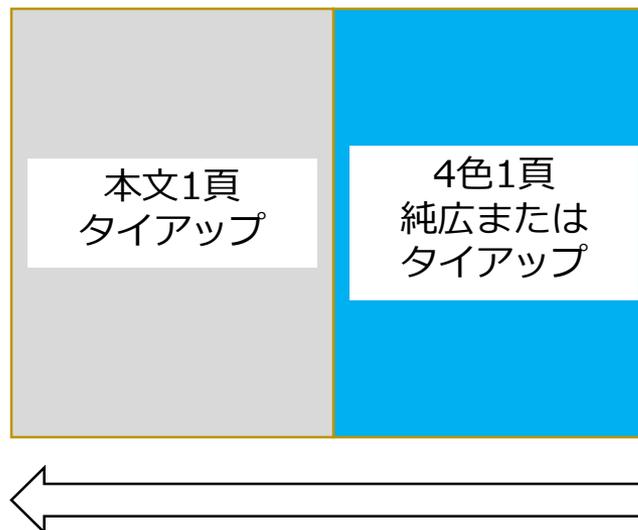
9/21は「国際アルツハイマーデー」「敬老の日」
→世間的な関心が高まる時期

広告特集と連動して編集でも関連記事を掲載
→ご協賛価格を越えるスケールメリット

【本企画 全体構成イメージ】



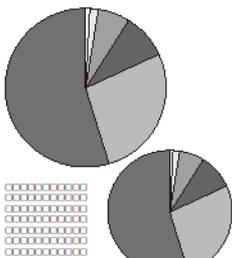
現時点での
イメージであり
ページの増減、
入れ替え等の
可能性もあります。
詳しくは
お問い合わせ
ください。



【ご協賛ページ（2頁の場合）誌面展開イメージ】

御社のご担当者さまへのインタビューを中心に展開します。

広告特集「認知症にそなえる」



商品・サービス開発の背景となるデータ



弊社にてインタビュー



弊社にてインタビュー

商品・サービス
ロゴマーク



商品・パンフなど

施設写真など

ご協賛社さまそれぞれに
**個別タイトルを
設定します。**

提供/〇〇株式会社 企画制作/新潮社

本企画だけのお得な料金プラン

① 4色2頁タイアップ	2,700,000円
② 4色1頁タイアップ	1,350,000円
③ 4色1頁純広告	1,000,000円
④ 本文1頁タイアップ	500,000円

- ・ ③または④の料金プランをお選びいただいた場合、掲載位置が広告対向となる可能性があります。あらかじめご了承ください。

◆ご参考/本誌通常価格◆ ①3,900,000円 ②2,000,000円 ③1,700,000円 ④800,000円

【ご注意事項】

- **本企画「認知症にそなえる」は1業種につき1社に限定はいたしません。**
- 7/31時点で4色2頁以上のご注文があれば本企画は成立といたします。
- “ ” ご注文をいただいたにもかかわらず本企画が成立しなかった場合※
本企画料金を適用のうえ、同号の中面で掲載させていただくことが可能です。
詳細はご相談ください。 ※編集部制作の特集の有無につきましては編集部判断となります。
- 本企画は、原則として弊社広告制作チームが取材・構成を担当いたします。
著名人によるインタビュー/対談がご希望の場合は別途出演料が必要となります。
- 特定保健用食品、機能性表示食品以外のいわゆる健康食品は本企画の対象とはなりません。

その他ご不明の点はいつでもお問い合わせください。

保険

あいおいニッセイ同和損保

【安心】お父さんお母さんの健康を、お孫さんの未来のために。健康保険の補償範囲を拡大し、お孫さんの未来のために。健康保険の補償範囲を拡大し、お孫さんの未来のために。



健康保険の補償範囲を拡大し、お孫さんの未来のために。健康保険の補償範囲を拡大し、お孫さんの未来のために。

国内初！安全運転で保険料引を実現 安全運転を推進 させる保険。

「安全運転で保険料を安くする」という夢を実現。安全運転で保険料を安くする。安全運転で保険料を安くする。



事故の多い道路から安全運転で保険料を安くする。安全運転で保険料を安くする。



安全運転で保険料を安くする。安全運転で保険料を安くする。

【ご参考】

シニア関連 タイアップ企画 掲載事例

介護

元気長く持続できる住まい「スマートコミュニティ編毛」

700名以上の住戸が、新しい生活スタイルを実現しています。「スマートコミュニティ編毛」は、100の施設を備えた新しいライフスタイルを実現しています。



株式会社スマートコミュニティ | TEL: 0120-30-1414

健康寿命 これからの人生は 楽しく暮らして健康も維持

健康寿命を延ばすために。健康寿命を延ばすために。健康寿命を延ばすために。



健康寿命を延ばすために。健康寿命を延ばすために。健康寿命を延ばすために。

機能性表示食品

記憶、それはいつも、はかない。

記憶力を維持する。記憶力を維持する。記憶力を維持する。



記憶力を維持する。記憶力を維持する。記憶力を維持する。

「思い出す能力」を維持

思い出す能力を維持するために。思い出す能力を維持するために。思い出す能力を維持するために。



思い出す能力を維持するために。思い出す能力を維持するために。思い出す能力を維持するために。

【スケジュール】

2020年7/31（金）

申込締切

8/上旬

オリエン

8/21（金）まで

取材/インタビュー

8/下旬

原稿提出

9/上旬

色校提出

9/10（木）

校了

9/17（木）

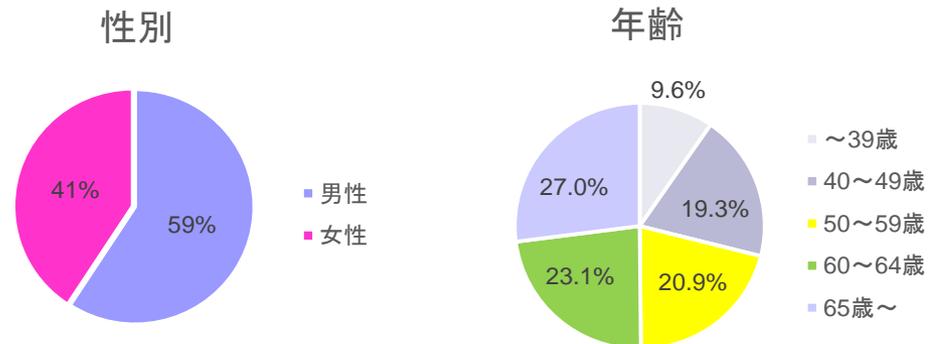
掲載

詳細につきましてはお問い合わせください。

【媒体プロフィール】



- 発売日： 毎週木曜日
- 発行部数： 390,020部 (一般社団法人日本雑誌協会 2019年1月～3月)
- 全国に配本 (比率は人口比とほぼ同じ)
- 読者属性



創刊： 1956年2月 (今年64周年)
出版社系ジャーナリズム誌
としては日本で最初に創刊

編集長： 宮本太一 (2017年2月より)

<おもな購読者層 (上位3つ) >

- ① サラリーマン
- ② 主婦 (夫) ・リタイア層
- ③ 自営業

【週刊新潮の歴史】

1956年に創刊された『週刊新潮』。非新聞社系ジャーナリズム雑誌として創刊されて以降、今日まで常にトップランナーとしての言論活動をおこなってきました。政治・事件・文化風俗などへの徹底した取材から生み出された記事は、長年多くの読者に信頼され愛されてきました。また『週刊新潮』の記事をきっかけに、世論を大きく動かすような展開となった事件も数多くあり、媒体が持つ社会的影響力の強さを物語っています。

またもうひとつの側面は、老舗文芸出版社としての強みを凝縮し読者に文化を提供してきた雑誌であることです。これまでも山本周五郎や池波正太郎といった大物時代小説、松本清張や山崎豊子といったノンフィクション文学など、良質な作品を読者に提供してきました。

【読者の傾向】

週刊誌と聞くと読んだらすぐに終わり、というイメージがあるかもしれませんが、弊社が行った愛読者調査（2010年実施）によると、『週刊新潮』は、

「自宅でじっくりと読む」 「購入してから4～5日かけて読む」

「毎週購読している」 「最初から最後まで記事を読む」読者が多く見られました。

また、購買者が自宅へ持ち帰って家族で回読する、という傾向もあります。



【お問い合わせ先】

株式会社 新潮社 広告部

〒162-8711

東京都新宿区矢来町71番地

電話：03-3266-5230

FAX：03-3266-5235

担当：大川

infoad@shinchosha.co.jp